



清流の国ぎふ芸術祭

Art Award IN THE CUBE 2017

二次審査会開催のお知らせ (プレス公開のご案内)

2017年4月、初開催となる清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 が開幕します。AAIC は、新たな才能の発掘と人材育成、アートに関わる環境の醸成とネットワークづくりなどを目的に創始されました。

平成 28 年 8 月の一次審査会において、応募企画 790 件の中から、15 企画の入選を決定しました。約半年の準備期間を経て、3 月 9 日から 23 日の間に、岐阜県美術館で、15 人の作家が制作・展示を行いました。

3 月 28 日開催する二次審査会においては、実際に制作された入選 15 作品から、大賞 1 点、審査員賞 7 点を決定します。各界を代表する審査員が一堂に会し、新しいアートを評価し世に出す審査会を、ぜひご取材いただけますようご案内いたします。

1. 二次審査会のご取材について

審査員 (O JUN, 十一代 大樋長左衛門 (年雄), 高橋 源一郎, 田中泯, 中原浩大, 三輪眞弘, 鷺田清一) が岐阜県美術館の 15 作品を巡り、鑑賞・審査する様子を報道関係者の皆様に特別公開します。

■ 日 程 : 平成 29 年 3 月 28 日 (火)

■ 受付時間 : 13:30 - 14:00

■ 公開時間 : 14:00 - 15:00

■ 場 所 : 岐阜県美術館 (岐阜市宇佐 4-22-1)

■ 受付場所 : 岐阜県美術館 ホール内総合受付前

※受付にてお名刺をいただきます。

※報道関係者であることを示す腕章等をご着用ください。

2. 審査結果

審査結果は、平成 29 年 4 月上旬に、県 HP, AAIC 公式サイト等で発表します。

3. 審査員プロフィール



○ JUN (おう・じゅん)

画家／東京藝術大学教授

1956年・東京都生まれ。東京藝術大学で油画技術を学んだのち、スペインに遊学。80年代末に20kgを超える合金の筆を用いたライブパフォーマンスを発表。その後、ドイツ遊学を経て90年代後半からは、鉛筆、クレヨン、水彩など多彩な画材を用いた平板での作品を発表。2000年代以降は再び油彩も手掛け、具体的なモチーフと大きな余白から構成される作品を輩出している。



十一代 大樋長左衛門(年雄) (おおひ ちょうざえもん としお)

美術家、陶芸家／ロチェスター工科大学、金沢大学などで客員教授

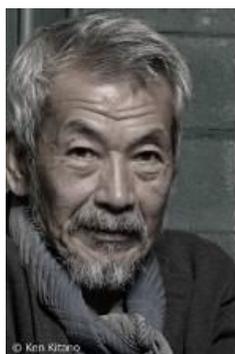
1958年・石川県生まれ。1984年ボストンユニバシティー大学院修士課程修了。茶道・裏千家や表千家の茶器として、京都の楽焼をルーツに350年の伝統を持つ大樋焼の継承者。2013年第七回 韓国京畿国際陶芸ビエン ナーレ(韓国・利川)招待作家。数々の賞を受賞し、2015年日本現代工芸展内閣総理大臣賞受賞。2016年十一代長左衛門襲名。多くの美術展の審査員を務め、個展・講演・ワークショップなど陶芸家としての活動に留まらず、デザインや空間プロデュースなど現代アートの分野でも活躍している。



高橋 源一郎 (たかはし・げんいちろう)

小説家、文学者／明治学院大学教授

1951年・広島県生まれ。1981年に『さようなら、ギャングたち』で群像新人賞優秀作を受賞しデビュー。その後、『優雅で感傷的な日本野球』で三島由紀夫賞、『日本文学盛衰史』で伊藤整文学賞、『さよならクリストファー・ロビン』で谷崎潤一郎賞を受賞。大学教授、ラジオパーソナリティー、数々の文学賞の選考委員を務めながら、多くの著作を輩出。



田中 泯 (たなか・みん)

ダンサー

1945年・東京都生まれ。60年代クラシック・バレエ、モダン・ダンスを学んだ後、独自の舞踊を展開する。78年パリでデビューし国際的に活動を開始。85年農村へ移住、本格的に農業を始める。その場を拠点に、国内ではいち早く野外での国際芸術フェスティバルを発展させ26年間継続する。90年フランス政府より芸術文化勲章シュバリエを受章。95年国内外の伝統芸能に焦点を当てた「舞踊資源研究所」を発足。2002年より映画やドラマなど、映像の世界へも活動の域を広げている。踊りの起源を追求し、あらゆる場から生まれる踊りを即興で踊る『場踊り』を展開している。2012年、第6回円空賞受賞。



中原 浩大 (なかはら・こうだい)

彫刻家、美術家／京都市立芸術大学教授

1961年・岡山県生まれ。ドローイング、立体、映像、パフォーマンス、インスタレーションなど多岐にわたる表現方法をもちい、彫刻概念の拡張を試みてきた。90年代以降は、現代の社会における芸術活動の“Another Model”（別なかたち・在り方）についての脱領域的アプローチによる模索と試行をかさねている。また、個人での制作研究活動の他、共同研究・プロジェクトなどにも積極的に携わっている。



三輪 眞弘 (みわ・まさひろ)

作曲家／情報科学芸術大学院大学[IAMAS]教授

1958年・東京都生まれ。コンピュータを用いたアルゴリズムック・コンポジションと呼ばれる手法で数多くの作品を発表。第10回入野賞1位、第14回レイジ・ルッソロ国際音楽コンクール1位、第14回芥川作曲賞、2010年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)他受賞歴多数。07年「逆シミュレーション音楽」がアルス・エレクトロニカのデジタルミュージック部門にてゴールデン・ニカ賞(グランプリ)を受賞。



鷲田 清一 (わしだ・きよかず)

哲学者／京都市立芸術大学学長

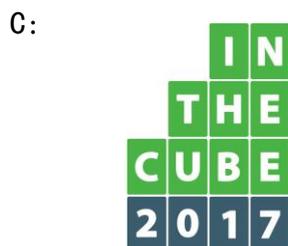
1949年・京都府生まれ。1972年に京都大学文学部哲学科卒業後、関西大学教授、大阪大学教授、大阪大学総長などを歴任。大阪大学名誉教授、大谷大学客員教授、せんだいメディアテーク館長。専門分野である哲学・倫理学の視点からアート、ファッション、教育、労働、ケアなど様々な分野において、数多くの評論・執筆活動を行っている。サントリー学芸賞、桑原武夫学芸賞、読売文学賞等を受賞。

4. 展覧会の基本情報

名 称	清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017
会期・時間	4月15日(土)－6月11日(日)(58日間) 月曜休館 10:00～18:00 (第3金曜日は～20:00, 入館は閉館30分前まで)
会 場	岐阜県美術館 (岐阜市宇佐4-1-22)
入場料	無料
主 催	岐阜県、清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 実行委員会
内 容	国内外から寄せられた790点から、7名の審査員によって15点の企画を選出。テーマ「身体ゆくえ」を、選ばれたアーティストはどう読み直したのか。無限の小宇宙に見立てた幅4.8m×奥行4.8m×高さ3.6mのキューブに、手法・素材・技法もさまざまな作品が展示されます。 小さな一滴がやがて大河となって海へ注ぐように、あらたな芸術の源流となることを目指すアートアワードの幕開けとなる第1回にご注目ください。

作家	佐藤雅晴、柴山豊尚、谷本真理、中村潤、平野真美、堀川すなお、松本和子、三枝愛、三木陽子、水無瀬翔、耳のないマウス、宮原嵩広、ミルク倉庫+ココナッツ、森貞人、安野太郎
審査員	O JUN [画家/東京藝術大学教授] 十一代 大樋長左衛門 (年雄) [美術家、陶芸家] 高橋 源一郎 [小説家/明治学院大学教授] 田中 泯 [ダンサー] 中原 浩大 [彫刻家/京都市立芸術大学教授] 三輪 眞弘 [作曲家/情報科学芸術大学院大学[IAMAS]教授] 鷲田 清一 [哲学者/京都市立芸術大学学長]

5. 提供可能画像



D: 清流の国ぎふ芸術祭
Art Award IN THE CUBE 2017

E: 作品画像×15 (公式サイトに掲載の作品画像は全てご提供できます)

岐阜県文化振興課文化企画係 Art Award IN THE CUBE 実行委員会事務局 (小島・森田・鳥羽)	直通 058-272-8378 FAX 058-278-3529 office@art-award-gifu.jp
------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------